

2019年		2020年				2021年				
7/1 募集要項を財団HP上に掲載	11/1～12/31	3月下旬	4月中旬			2月末	3月末			
	申請受付	助成金交付決定	助成金交付			助成実施期間終了	実施報告書提出期限			
		<p style="text-align: center;">← 助成事業実施期間(2020年4月1日～2021年2月28日) →</p> <p style="text-align: center;">← 助成金交付対象期間(2020年4月1日～2021年3月31日) →</p>								
<p><b>※必要書類</b></p> <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 33%; vertical-align: top;"> <p><b>【助成金申請時】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 学校教育設備助成金申請書</li> <li>・ 添付書類(見積書・カタログ・設計図書・その他資料)</li> </ul> </td> <td style="width: 33%; vertical-align: top;"> <p><b>【事業期間中】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 助成金受領承諾書</li> <li>・ 申請書の変更・中止届</li> </ul> </td> <td style="width: 33%; vertical-align: top;"> <p><b>【事業終了時】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 実施報告書</li> <li>・ 収支計算書(領収書コピー)</li> <li>・ 写真、その他資料</li> </ul> </td> </tr> </table>								<p><b>【助成金申請時】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 学校教育設備助成金申請書</li> <li>・ 添付書類(見積書・カタログ・設計図書・その他資料)</li> </ul>	<p><b>【事業期間中】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 助成金受領承諾書</li> <li>・ 申請書の変更・中止届</li> </ul>	<p><b>【事業終了時】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 実施報告書</li> <li>・ 収支計算書(領収書コピー)</li> <li>・ 写真、その他資料</li> </ul>
<p><b>【助成金申請時】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 学校教育設備助成金申請書</li> <li>・ 添付書類(見積書・カタログ・設計図書・その他資料)</li> </ul>	<p><b>【事業期間中】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 助成金受領承諾書</li> <li>・ 申請書の変更・中止届</li> </ul>	<p><b>【事業終了時】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 実施報告書</li> <li>・ 収支計算書(領収書コピー)</li> <li>・ 写真、その他資料</li> </ul>								

**■申請(選考)の観点**

- ① テーマ設定(課題意識、目的、意図、必要性)
  - ・ 今日的意義が強く、教育現場に役立つものであるか。
  - ・ 取り組む理由、目的が明確であるか。
- ② 継続性(本課題研究への準備状況及び成果の定着のさせ方)
  - ・ 背景や今回の申請に至るまでに、どのような実践を行ってきたか。
  - ・ 本取組により得られた成果をどのような形で学内に定着させるか。
  - ・ 今後の研究への発展性は見られるか。
- ③ 計画性(研究体制、役割分担、推進計画)
  - ・ 誰が研究のどの部分を担当するか等、役割分担が明確になっているか。
  - ・ 助成期間内で確実に実施でき、はっきりと成果を示すことが可能な計画であるか。
  - ・ 助成期間内のスケジュールが読み取れるか。
- ④ 具体性(内容、方法、成果目標)
  - ・ 研究の手順は適切であるか。
  - ・ 何のために、どのような活動を行い、どのように評価するのか明確であるか。
  - ・ どのような成果や効果が得られるのか、成果目標や評価指標が明確であるか。
- ⑤ 独自性(実態に応じた創意工夫)
  - ・ 本助成事業には現状の学校や学生の実態を踏まえた創意工夫がなされているか。
- ⑥ 助成金の有効性(助成金を支出する有効性)
  - ・ 当財団が助成金を支出する必要があるか。
  - ・ 目標達成のために効果的な用途内容であるか。
  - ・ 算出根拠が明確であるか。

**■ 申請者は以上を参考に、本財団HP掲載の学校教育設備助成金交付規程も必ずご確認下さい。**